

佐久間徹氏への瑞寶単光章伝達式

2024年2月21日（水）、天皇誕生日祝賀レセプションにて佐久間徹氏に対する「瑞寶単光章」の伝達式を実施しました。

本勲章の授与基準は、国及び地方公共団体の公務又は公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与されます。

佐久間徹氏は令和五年四月二十九日に本勲章を受章されました。

同氏は、東京外国語大学でインドネシア語を修め、インドネシア大学留学を経て、東京外国語大学大学院修士課程を修了した後、昭和52年から在マカッサル総領事館の現地職員を務め、途中、昭和56年から東京外国語大学の講師を務めていたものであるが、文化人類学を専門とするインドネシアの地域研究者として、専門のフィールドであるマカッサルでの活動の場を求めて、昭和60年から再び在マカッサル総領事館の現地職員となり、それ以降、得意とする現地語であるインドネシア語や地域研究者としての知見を生かし、総領事館の中で模範をなす中核的職員として、平成20年に定年直前に退職するまで通算約27年間の長きにわたり館務に従事し、総領事館の業務に多大な貢献を行いました。

